

せたがや 町総連だより

第 26 号

発行 世田谷区町会総連合会
世田谷区若林4-31-9
ポライト第2ビル2F
☎・FAX 5481-3456

発行人 会長 倉本俊幸
編集情報誌編集委員 会
編集委員長 鈴木 誠



世田谷区町会総連合会 会長 倉本俊幸

援ご協力の賜物と感謝申し上げます。

町会・自治会の皆様、あけましておめでとうございます。平成二十年の新春を迎え謹んでお慶び申し上げます。

昨年の当会の事業はつづがなく終了いたしました。これも一重に皆様方のご支

あけましておめでたいございます

「町会・自治会交流会」は平成十八年度より取り組み続けてきた町会自治会活性化キャンペーンの集大成として、成果を上げられたことは大変嬉しいことでした。さて、昨年は当会の重鎮土橋副会長を失いました。今後とも先輩達が築いて

きた偉大な功績を引き続き踏襲し、町会総連合会並びにそれぞれの町会・自治会の発展に努力し、安全で安心して住める町「せたがや」を目指して活動して参ります。

最後になりましたが、会員各位の益々のご繁栄ご活躍を期待いたしました新年の挨拶とさせていただきます。



世田谷区長 熊本哲之

新年あけましておめでとうございます。

町会・自治会の皆様方におかれましては、つつがなく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

町会・自治会は、地域の皆様方が自主的に組織・運

営し活動されています。

その活動は、安全で安心して生活できる地域社会を築く取り組みであり、このことは行政の目的である住民福祉の向上と意を同じくするものです。まさに行政のよきパートナーであります。

私は、就任以来誰もが世田谷に住む喜びを感じる事ができるよう、安全で安

心なまちづくりの実現に取り組んでまいりました。

二期目におきましても引き続き皆様方のご協力を賜りたいと存じます。

結びに、世田谷区町会総連合会並びに各町会・自治会の益々の発展と、皆様方のご健勝を心よりお祈りいたします。新年の挨拶とさせていただきます。

目次

新年の御挨拶	1	砧地域 命を守る震災対策へのとりくみ	6
町会・自治会交流会開催	2	烏山地域 粕谷会の町会活動の活性化に向けての取り組み	7
地域情報		行政情報「飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費用助成制度」をはじめます	8
世田谷地域 地域町会連合会会長として	3	健康で元気な池尻地区社協	3
北沢地域 松原一丁目町の100年と現在の町会活動	4	町総連ニュース	8
玉川地域 町会・自治会交流会に参加して	5	町総連情報誌編集委員会名簿	8
知りあい・ふれあい・支えあい	5	編集後記	8

町会・自治会交流会開催

平成19年11月12日(月)北沢タウンホールにおいて世田谷区と共催で「町会・自治会交流会」を開催しました。

当会では、町会・自治会の活動を活性化させ、会員への加入を促進するため町会・自治会活性化キャンペーンを実施してきました。

平成十八年度に、全町会・自治会を対象としたアンケートやヒアリング調査を行い、「町会・自治会活性化マニュアル」を作成するとともに、平成十九年度の総会では、「知りあい、ふれあい、支えあい」の3つの「あい」による加入促進にむけての宣言を行いました。

町会・自治会交流会は、キャンペーンの一環としてモデル町会の活動報告と町会・自治会長の意見交換会の二部構成で行われました。



組み合わせ、

○桜上水一丁目町会

堀池会長から、アパートや駐車場の管理している会社から町会への理解を得ること、居住者とのコミュニケーションを図ることを目的として、協力を集めることを始めたところ、ほとんどのオーナーが理解を示してくれたこと。また、会員を対象に行った町会活動アンケートの報告がされました。

○玉堤町会

斉藤会長・内田第二分会長から地元大学や地域の企業など多くの方の協力による盆踊り大会、「地域支え合いの会」などの活動を積極的に展開していること。

○粕谷町会

本橋会長代行から都立声花恒春園の花の丘地区において花の丘友の会が主催し、町会が協力している「花の丘フェスタ」や、粕谷区民センターでの子どもまつりなど、地域の方が参加できるイベントをほぼ毎月行っており、こうした機会に町会をPRするチラシを配布し、加入を呼びかける活動を始めたこと発表されました。

○北沢二丁目協和会

富永会長から平成十七年に個人情報保護制度制定後、情報の管理は非常に難しいが、「人間は本来助け合って生きていく動物」なんだという信念で、ひとり暮らしの高齢者の方々等の災害時ネットワークづくりに取り組んでいること発表されました。

第二部では、当日参加した96町会・自治会、104名の町会・自治会長をはじめ、新たな担い手の発掘を行っていますと発表されました。

めとする町会の方々が集まり「町会活動 つぎの一步」をテーマとして、ワークショップ形式の意見交換会を12班に分けて行いました。特に、正副会長は区立小・中学校PTA連合協議会、世田谷NPO法人協議会等地域でご活躍の他団体の代表の方々と意見交換を行いました。

最後に行われた各班の意見発表では、町会・自治会長が一堂に会した意見交換会は初めての試みであり、発表を聞くだけではなく、各町会・自治会が抱えている課題や、活性化のために取り組んでみたいことなどについて意見を出し合い、近隣の町会・自治会と情報交換を行うことで具体的な活動につなげていける等の声が出されました。

今回の交流会は「ぜひこの様な会をまた開いて欲しい」等好評で二十年度に向けての継続を求められ成功裏に終了いたしました。

第一部では、桜上水一丁目町会・玉堤町会・粕谷町会のモデル3町会の取り組み報告と北沢二丁目協和会の災害要援護者支援協定の取り組み状況等の活動報告が行われました。

各町会の取り

地域情報

世田谷地域

地域町会連合会長として

世田谷地域町会連合会長 宇田川 國一



私は、土橋会長のご逝去に伴いまして世田

谷地域町会連合会長に就任いたしました。各町会・自治会は、防犯防災活動・青少年育成事

業・高齢者の見守り介護等、多岐にわたる活動を熱心に行っています。

地域の身近な課題を自ら解決できるコミュニティづくりを進めている町会・自治会長の皆様にとって、地域町会連合会が手助けとな

るような運営をしていかなければと思っております。お引き受けした職務については、皆様のご指導ご鞭撻を賜り誠心誠意努力する所存でございますので今後ともよろしくお願い申し上げます。

この地区社協は会員制で、町会・自治会・民生児童委員・社協推進委員・教育関係者・民間企業等々福祉に関する地域住民で構成されています。なかでも、町会・自治会の協力は、不可欠と強調されています。

健康で元気な池尻地区社協

池尻西町会長 田中清子

私たちが池尻地区は世田谷区の東の玄関口にあたる田園都市線「池尻大橋」駅より246号線を南北の方向に広がる交通便利な地域です。

一昨年より地区社協設立に向け検討をして参りましたが、お陰様で昨年四月総会を行い正式に池尻地区社協を立ち上げました。初年度でもあり、余り欲張らず出来る事からと、

池尻あんしんすこやかセンターと共催して「三宿音楽交流会」を開催することになりました。

音楽交流会とは、参加されるお年寄りの方々と歌ったり、体を動かしたりして、元気に楽しく何時までも若々しくとの想いで始めました。

講師は、町会内にあります「国立音楽院」の方々に音楽の指導をお願いしてい

ます。参加された方々も、あんしんすこやかセンターの方に健康相談も出来て、介護予防にもなると大変喜ばれております。

池尻地区にお住まいの方々が安心して住み続けるにはどのような取り組みをすれば良いのか勉強するため、早くから地区社協を立ち上げ活発に活動されている、横須賀にある「北下浦

地区社会福祉協議会」へ視察研修に伺いました。

活動内容は、各地区とも対象者に合わせた専門部会を組織してあり、それぞれの福祉課題に合わせた取り組みが行われていました。

お年寄りの食事支援、安否確認を目的とした「ふれあい弁当」生きがい作りを目的とした「いきいきサロ

ン」等々その地域に住んでいる住民の方々自ら福祉課題を見だし、解決に向けて「協働」した取り組みを行っていました。

この地区社協は会員制で、町会・自治会・民生児童委員・社協推進委員・教育関係者・民間企業等々福祉に関する地域住民で構成されています。なかでも、町会・自治会の協力は、不可欠と強調されています。

助会費もお願いしています。どこでも限られた財源の中での運営は大変なようです。チビママ広場・わいわい広場など子育て支援にも力を入れていくそうです。最後に大変面白いものを拝見させて頂きました。「フリフリグッパ」体操です。

脳トレを兼ねた体操ですが、大変ユニークで会長さんのゼスチャーがとても面白く、非常に有意義な研修会でした、今回の研修を踏まえ、我が地区でも良い点は見習い今後の活動に生かしていきたいと考えております。



三宿音楽交流会



フリフリグッパ体操

北沢地域

松原一丁目の100年と現在の町会活動

松原一丁目町会長 富田 保

松原一丁目町会は京王電鉄の代田橋駅と明大前駅の間、線路の南北に広がる人口5000人の町で、そのほとんどが住宅地です。町の北側は甲州街道を境にして杉並区の和泉と接しており、近くを玉川上水が流れています。

【大正昭和初期】

この地域の100年を振り返ってみると、大正の半ばまでは大都会東京近郊のどかな田園地帯で、当時まだ砂利道だった甲州街道は東京の市場へ野菜を運ぶ荷車や荷馬車がひっきりなしに通る、沿道にはその人達のためのお休み処が並んでいたそうです。そのほかさと街道の賑わいが一変したのは大正12年の関東大震災でした。

東京の中央部から、大勢の人が移り住み、それと相前後し甲州街道は舗装され、荷馬車等はトラックに変わり、お休み処は無くなりま

【終戦後の変遷期】

そしてその後、もう一度大きな変遷がありました。太平洋戦争です。東京は焦土と化しましたが、終戦後の交通機関や住宅の復興によりこの地域の人口は、爆発的に膨張して過密なまでの住宅地になりました。以上が松原一丁目の歴史懐古です。

【松原一丁目町会設立】

この状況をふまえ、多数の新しい居住者を迎えて町の人達が融和協調して安全で住みよい町を作ることを目的として松原一丁目町会が設立されました。そして、昭和34年には集会所「松原一丁目会館」が建設され、現在も先人への感謝を込めて極めて有効に活用されています。

現在当町会で実施している定例の諸事業・行事をご紹介します。

① ふれあい松原一丁目

11月1回 高齢者を招いて体操・

講話・余興などで楽しい時を過ごし、軽食を提供。高齢者30人、スタッフ10人程度。

② 高齢者クラブ松扇会の支援 松扇会(会員1000人)に対し、役員会等の会場として松原一丁目会館の貸与等の支援。

③ 新年会 11月 有志50人程が集まり、近隣の町会長等と呼びかけ新年の喜びと、新しい年の事業計画を懇談。

④ 餅つき大会 12月頃 青年部・婦人部が中心となり、白と杵で餅を搗き配付する。子どもたちにも搗かせる。2000人。

⑤ 交通安全運動に協力 11春・秋 運転者講習会兼交通安全のつどいを開催、参加者50人程度。また、松原交差点付近に天幕を設置、10日間交替で毎朝交通安全全指導。参加者延80人。

⑥ 地域安全パトロール

11通年毎日 巡回地域指定のパトロールとわんわんパトロールを併行実施。小・中学生の登下校時に重点を置いて町内全域を毎日2回以上巡回。防犯に大きな成果。協力者90人。

⑦ 応急手当法の夕べ

118月頃 防災ビデオ上映・骨折手当・三角巾の使い方・応急担架作成法等実習。参加者50人程度。

⑧ バーベキュー大会

118月頃 防災訓練を兼ねて町内小公園で実施。小・中学生・PTA・おやじの会の協力で、バーベキュー・アルファ米等の試食。



防災訓練を兼ねたバーベキュー大会開会式

⑨ 救命救急

1111月頃 消防署の協力を得て、普通救命講習を実施。現在技術認定証所持者60人。青年部と消防団が中心となつて拍子木を打ちながら町内を巡回。参加者延30人。



消防署員の指導による心臓マッサージ

以上のように、当町会は会員・役員の熱意と努力により活発に活動しています。近年の風潮としてサラリーマンは多忙になって自由時間が減少し、一方働く女性も増え、町会事業への協力が徐々に得にくくなる傾向にあり、何らかの対応が必要と感じています。

玉川地域

町会・自治会交流会に参加して —知りあい・ふれあい・支えあい—

玉堤町会 会長 斉藤重男

町会・自治会の活性化のために、それぞれの町会の活動を発表し合うやり方だったので非常に有意義な交流会だったのではないかと思います。

各町会・自治会とも地域の特性やいろいろな事情によって多少の違いはあるようですが、共通の問題も多く感じられ御苦勞なさっている姿が浮かんでまいります。

約84万人

から活動発表の機会を得られたことは、光栄と思うと同時に大きなプレッシャーでした。救いだったのは私より町内の事に詳しい各分会長が担当を引き受けてくれた事でした。

私が、福永さんとの打ち合わせや会議に出られない時など夜遅くまで協力してくれました。町会役員には感謝しています。

今回、勉強させていただき得た事は決して無駄にせず今後の町会の活性化と安全・安心のまちづくりに繋がるものと確信しております。

さて、今回交流会の発表のために、約30年間続けてまいりました町会活動を振り返り、整理することができましたので、以後は感じている事を1、2点書かせて頂きます。

昔は、玉堤といえは交通

の便の悪い町で、世田谷の陸の孤島と言われた事もあったようですが、平成10年10月18日世田谷区が、私も地域住民の長年の願いを聞き入れてくれて、補助金を出して東急の47人乗りのバスを通していただきました。玉堤の街が生き返りました。玉堤だけではなくバスの通る商店街、町会・自治会がバスを中心としたイベントを企画し玉川地域全域の皆さんが地域活性化にむけたまちづくりを立ち上げご協力を頂きました。

お陰様で初めの数年間は赤字だったバスの収支も今は乗客も増え区の助成も打ち切り安定していると思えます。タマ・リバーバス運行開始五周年の節目の時、世田谷区や地域の諸団体からご協力を頂き記念イベントを玉川区民会館ホールで行いました。

来年は、運行10年と同時に玉堤町会の創立30年に当ります。創立以来の流れや発展等視野に入れてどうするか考え中です。

自分達のまちは自分達の手でとよく言われますが、まちづくりは単町会の一人歩きではできません。近隣地域や特に行政、世田谷区と協調性を持ちながら推し進めていかなければ良いまちづくりはできません。

また、いつも話題に出る区の回覧やチラシの件ですが多すぎると言う声があるようですが、町会・自治会の創意工夫によって解決できると思います。等々力地区町会連合会ではまちづくり出張所と町会・自治会との取り決めで、受ける日を月2回、5日と20日に住民に配布できるようにしています。

住民からは、いろいろな情報の伝達が早いのが区報は見落しがちだから回覧は続けて欲しいと要望されています。

玉堤町会



- ・世田谷南西部で多摩川に面する町会
- ・会員世帯 1,000世帯
- ・設立から約30年と、比較的新しい町会
- ・集合住宅(マンション)が増えつつある

多い町会・自治会の中

今回の数は

自分達のまちは自分達の手でとよく言われますが、まちづくりは単町会の一人

はありませんか。

最近パソコンが普及し、インターネットから情報を得る事ができますが私達みたいな年寄りには難しいです。

197町会・自治会長さん始め全区民の皆さん、知りあい、ふれあい、支えあい新会員の加入促進、そして活力のある安全・安心のまちづくりを、住んでみたい世田谷を一緒に創ろうではありませんか。

砧 地域

命を守る震災対策への取り組み

船橋 葎根会

当町会は以前は船橋町(現1〜7丁目)が一つの町会でありましたが、終戦後5・6丁目が分離独立して「船橋葎根会」が発足しました。明治の頃、東京府北多摩郡千歳村船橋字葎根耕地と称されていたことから町会名となっております。

日常の防災、防犯、福祉等多くの活動をしています。最大の課題は大震災時の対応と考えます。標題のテーマへ取り組み始めたばかりですが、以下まとめてみました。

一、震災意識の希薄化
平成7年1月17日5時46分に発生した兵庫県南部地震(阪神・淡路大震災)から今年で13年、また、新潟県中越地震から3年が過ぎ去ろうとしています。歳月の流れは早く、昨今の情報化社会の進行とともに、ややもすれば震災に対する意識の希薄化が懸念されるどころです。

東京・世田谷を含む南関東地域は、関東大震災以降幸いなことに大規模な地震に見舞われておりません。私たちの町会、船橋葎根会では、地震はいつ起きてもおかしくない。今日かもしれない、明日かもしれない、「命を守る震災対策」を

「命を守る震災対策」を身を家屋倒壊から守る一をテーマに、防災研修会を区建築調査耐震促進担当職員のご協力を頂き船橋まちづくり出張所



会議室において開催しました。この活動は、いわば区行政担当者による「出前防災勉強会」とも言うべきもので大変好評でした。

ご承知のように阪神・淡路大震災(震度7・3)は、都市直下型

地震」です。家屋倒壊による被害が甚大で、地震直後の14分間に犠牲者の約80%が亡くなるといういたましい惨事でした。その死因は、窒息死約54%、圧死約12%とのこと。建物や家具が原因で死亡した方約83%と非常に高い調査結果になっております。

研修参加者から、「私は高齢者です。倒れやすい家具がある」「古い一戸建なので心配です」との声に対し区担当者の方から、家具転倒防止器具支援制度・簡易耐震診断制度など住まいの点検について、わかりやすい説明がありました。

普段は全く安全そうなお家でも、もし地震が起こったらどうなるのかと考えると、危険なところが身近にあることがよくわかりました。

二、避難所運営研修会
平成18年1月、文部科学省地震調査研究会は、南関東に30年以内にM7程度の地震が起きる確率を70%と発表しました。また、18年5月18日の東京都防災会議の発表によると、世田谷区の被害予測は、地震により58件の火災が発生し、2万8988棟もの住宅が焼失、消防隊の消火では困難と予

測しております。

そこで、本年10月、当町会と希望ヶ丘団地自治会・希望ヶ丘中学校との共催で「希望ヶ丘中避難所運営研修会」を開催いたしました。

地域住民にとって避難所となっている区立小中学校がどのような場所であんな施設なのか、校舎配置図は、平日休日そして夜間の校門の開門はどうか、体育館・格技室の設備はどうかなど、避難所と言っても多くの疑問があるので直接現場に行き実感しましょう、が研修会の目的です。当日は休日にもかかわらず副校長に校内を限らず案内していただき説明を聞き、質問に答えていただきました。

また、砧総合支所地域振興・防災担当職員のご協力も頂き、次のような内容の研修会を実施したところ

- (一) 避難所運営の説明
- (二) 避難所運営組織(総務情報・避難所・給食物資・救護衛生)と運営全体の確認
- (三) 校内点検案内と無線交信訓練
 - ①校舎・防災倉庫の鍵の確認
 - ②無線機の操作、交信

烏山地域

粕谷会の町会活動の活性化に向けての取り組み

粕谷会会長代行 本橋 俊夫

粕谷会は環八西側の住宅地にあり、全世帯数は5000世帯でその内2200世帯が加入しております。また、この数年100から200世帯規模の分譲マンションが増加傾向にあります。

会名と町会エリアが一致しない地区があるが、かえってそれにより地域のコミュニティがまとまっている。

以上のような町会内の活動やイベントを利用して加入促進をしていくこととしました。

具体的取り組みとして

① 芦花公園の花の丘ひろばで行っているNPO法人花の丘友の会とドッグラン広場のワンワンクラブのイベントの際に町会の活動やイベントの紹介を年間行事「カレンダー」の形式でチラシを作成し配付

② 粕谷区民センターに受付箱を設置していただく等のご協力をお願いする。

③ 現在、粕谷会の町会事務所は粕谷八幡神社事務所になっているが形式的になっているので、電話・ファックスを設置し人員を配置し日常的に対応できるようにしていきたい。

今後の取り組みとしては、大型の分譲マンションが幾つも建設され、新たに移り住んでくる方々への対応も重要なことであるが、長年お住まいになってはいるが、未加入の方にも町会活動に興味を持っていただくための働きも必要と考えます。

- ③ 受水槽の確認
- ④ 避難スペースの確認と立ち入り禁止区域の確認
- (四) 防災倉庫の確認と機器操作訓練
- ① 備蓄物品の確認
- ② 発電機 の操作
- ③ ボイル機・バーナーの操作

大地震で自宅が壊れたとすることで、避難してきた方が、避難所である学校の中で好き勝手に行動するなど無秩序になるおそれがあります。避難所の運営主体は、学校でも行政でもなく町会・自治会が中心となって、避難してきた地域住民と一緒に協力してあたることになっております。

従って、いざという時に備えて、避難所のルール(運営マニュアルの見直し)や避難所運営の訓練(研修)の実施が、重要であると痛感した次第です。

地域住民一人ひとりの地震の備えと地域が一体となった防災の取り組みが求められております。

今後とも、命を守る防災対策活動を町会として推進していきたいと思っております。

- ① 町会内に芦花公園・蘆花恒春園があり、園内に人の集まる広場がある。
- 花の丘ひろば
- ドッグラン広場
- ② 粕谷八幡神社がある。
- 十月の秋の祭り
- 新年初詣
- ③ 粕谷区民センターがある。
- 夏休み夕涼み会
- 十一月に文化祭り、地域の災害時の避難場所となる。PTAとの連携を深めている。
- ⑤ 粕谷会の中で、環八が後から出来たため現在の町



12月 1日 大雪 2日 大雪 3日 大雪 4日 大雪 5日 大雪 6日 大雪 7日 大雪 8日 大雪 9日 大雪 10日 大雪 11日 大雪 12日 大雪

粕谷会 代表活動内容

- ・ 町会による行政連絡、関係団体より生活情報提供
- ・ 町内の雑草をはかるお祭りやイベントの開催
- ・ 高齢者クラブの支援、慰問活動 (75歳以上)
- ・ 登下校の見守り活動
- ・ ゴミゼロデー
- ・ 防災避難訓練、災害時の避難所の確保
- ・ 交通安全への取り組み
- ・ 他の地域団体や区、警察、消防署などの行政との連携、災害時の連携・協力
- ・ 社会福祉協議会や日赤、赤い羽根共同募金への協力
- ・ 通学 (ミニコミ誌「わきみず」) 発行の協力
- ・ 近隣町会との連携
- ・ 資源のリサイクル活動
- ・ 草花わんたクラブの協力

あなたの力で町が変わります。町会に加入しましょう。

町会加入申し込み用紙 (会費 150円/月)

氏名: _____

住所: 粕谷 丁目 番 号 _____

マンション/アパート名 _____

電話: _____

ファクス: _____

記入した個人情報は町会の活動情報のために利用します

町会加入ご希望の方は、上記に記載の上、粕谷区民センター1階または、イベント時に設置する受付箱へ入れてください。申し込みいただいた方には折り返しご連絡いたします。郵送の場合: 会費使割(会費) 粕谷4-17-16 / 本橋俊夫 (本橋俊夫 会長代行) 粕谷1-12-26 まで

この印刷物は平成19年度東京都地域の活力再生事業の助成を受けて作成しました。

加入促進チラシ

行政情報

「飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費用助成制度」をはじめます

世田谷保健所生活保健課

野良猫をとっつかまえて処分してしまえば問題は解決——という具合にはもちろんいきません。世は動物愛護の時代、動物と共生し

て暮らすのが、文化を育むまち世田谷のスタイルです。ではどうすれば良いか——区では、飼い主のいない猫（いわゆる野良猫）をこれ以上増やさないために、猫の世話をしている団体や個人の方々に対して、不妊・去勢手術費用の一部を助成する制度をはじめます。

この制度は、これまでの飼い猫の不妊・去勢手術費用助成制度を拡充した制度で、獣医師会と協定を結び

実施します。

助成を受ける場合は、地域の町会・自治会等の役員の方さまや近隣の方々に取り組み内容や活動のPRを行うこととしています。ぜひ、話に耳を傾けてくださるようお願いいたします。

飼い主のいない不幸な猫を地域から減らしていくために、地域ボランティアと、区の協働が今こそ必要です。皆様の一層のご理解をお願い申し上げます。

町総連ニュース

「生涯現役フェア2008」に出展します！

平成20年2月17日(日)に北沢タウンホールで開催される「生涯現役フェア2008」に町会総連合会の地域活動紹介のコーナーを出展いたします。

昨年は、千駄山町会と北沢四丁目町会が参加いたしました。今年は単一町会の参加でなく町会総連合会として、町会・自治会活動の写真パネル展示や町会加

入促進チラシを配布をいたします。
当日は、午後1時から4時30分まで行いますのでどなたでもお気軽にお立ち寄りください。

お悔やみ申し上げます

町総連副会長

太子堂二丁目大塚町会会長
土橋 賀 殿

平成十九年八月二十二日没

池尻団地自治会副会長
渡野邊 松 雄 殿
平成十九年十月十二日没

一町総連情報誌編集委員会名簿一

平成19年11月現在

役職	氏名	所属役職
会長	倉本俊幸	粕谷会会長
委員長	鈴木誠	上北沢一丁目自治会会長
副委員長	高橋英嗣	池尻団地自治会会長
〃	堀池有	桜上水一丁目町会会長
〃	斎藤重男	玉堤町会会長
委員	佐藤キイ子	太子堂下ノ谷町会会長
〃	佐藤和郎	豪徳寺一丁目山下自治会会長
〃	吉田仁	千歳台廻沢町会会長
〃	鈴木謙二	喜多見北部町会会長
〃	高橋和夫	烏山下町町会会長

編集後記

今号は、編集委員会で町会・自治会交流会の取材記事掲載いたしました。それ以外に交流会に関する記事やご意見が多く寄せられました。

このことは、交流会が成功した証ではないでしょうか。当日、ご出席された町会・自治会長さん、若手スタッフの皆さんお疲れさまでした。